

本内容の報道は、7月2日（金）12時まで
お控えいただくようお願い申し上げます

令和3年6月29日

国立大学法人広島大学、東広島市及びソフトバンク株式会社 との間における包括的な連携推進に関する協定の締結につ いて

地方創生の産官学連携モデルとして、国立大学法人広島大学（以下「広島大学」）、東広島市とソフトバンク株式会社は、第5世代移動通信システム（5G）等を活用した Society5.0 及びスマートシティの実現や、広島大学 東広島キャンパスのスマート化・グリーン化などを主な内容とする、「包括的な連携推進に関する協定」を締結します。

本協定は、広島大学、東広島市とソフトバンク株式会社が、イノベーションの創出を支援する環境の整備や、学術研究、人材育成または産官学連携面等により Society5.0 及びスマートシティの実現とその海外展開を推進し、国内及び世界の発展に寄与することを目的としています。

つきましては、調印式及び記者会見を下記のとおり行いますので、ご取材賜りたく、ご案内申し上げます。

記

<調印式及び記者会見>

【日 時】 7月2日（金）10：30 ～ 11：15（受付開始：10：15）

【場 所】 西条 HAKUWA ホテル 2階 ダイヤモンド
（東広島市西条下見6丁目5番45号）

【出席者】 国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫
東広島市 市長 高垣 廣徳
ソフトバンク株式会社 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO
宮川 潤一

※12：00 から担当者が質疑応答に対応させていただきます。

<連携内容>

- (1) 広島大学東広島キャンパスのスマート化・グリーン化に関すること。
- (2) 東広島市及び周辺地域での Society5.0 やスマートシティの実現に関すること。
- (3) Society5.0 やスマートシティの実現に必要なイノベーションの創出支援に関すること。
- (4) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な学術研究に関すること。
- (5) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な教育に関すること。
- (6) Society5.0 やスマートシティの国際展開に関すること。
- (7) デジタルインフラ（第5世代移動通信システム（5G）、モビリティ、デジタルツインなど）を活用し、新たなビジネスモデルを生み出すこと。
- (8) データ連携基盤を活用し新たなサービス横連携モデル（キャンパス内外での小売 MaaS、学生や住民参加型データ活用、パブリックヘルス（公衆衛生）・地域医療情報化推進、デジタル防災、観光 MaaS など）の早期社会実装を目指すこと。
- (9) その他、3者が認める事項。